

一般社団法人日本解剖学会 2019(令和元)年度第5回常務理事会議事録

日時：2019年9月14日(土) 13:00~16:20

場所：一般財団法人口腔保健協会 3階 302会議室

出席者：八木沼洋行(理事長)、渡辺雅彦、西 真弓、野田泰子、牛木辰男(以上、常務理事)、松崎利行、阪上洋行(以上、常任幹事)、中村 聡(以上、口腔保健協会)

I. 会議記録の確認

以下の議事録が確認された。

- (1) 2019年(令和元年)度第4回常務理事会(令和元年6月9日開催)議事録(案)
- (2) 2019年(令和元年)度第8回理事会(令和元年7月5-16日開催)議事録(案)
- (3) 2019年(令和元年)度第9回理事会(令和元年7月24-31日開催)議事録(案)

II. 報告事項

1. 庶務報告

(1) 会員異動報告

資料に基づき、以下の内容が報告された。

全会員2,315名(2019年8月31日現在)

2019年5月分

入会者：正会員 4名

退会者：正会員 3名

2019年6月分

入会者：正会員 3名、学生 2名

退会者：正会員 1名、名誉会員 4名

2019年7月分

入会者：正会員 4名、学生 3名

退会者：代議員 1名

2019年8月分

入会者：正会員 8名、学生 2名

退会者：正会員 1名

逝去会員 5名

佐藤 正博 氏(岩手医科大学・正会員)2019年3月8日逝去(満70歳)

藤本 十四秋 氏(熊本大学・名誉教授/名誉会員)2019年5月2日逝去(満93歳)

見明 清 氏(東京歯科大学・名誉教授/名誉会員)2019年6月17日逝去(満92歳)

北川 正 氏(日本大学・名誉教授/名誉会員)2019年6月28日逝去(満91歳)

平田 幸男 氏(琉球大学・名誉教授/元・学術評議員/現・代議員)2019年8月3日逝去(満83歳)

新規就任教授

福島 菜奈恵 先生(信州大学・医・人体構造学・教授)2019年3月1日就任

北田 容章 先生(関西医大・解剖学・教授)2019年4月1日就任

大庭 伸介 先生(長崎大学・歯・細胞生物学・教授)2019年5月1日就任

(2) 学会宛文書類について

資料に基づき、以下の通り報告があった。

- ① 通知・依頼：北海道大学より「北海道大学病院専門研修プログラム&医学院博士課程進学合同説明会、医学院修士課程入学説明会のご案内及びご周知について(ご協力依頼)」他66件
- ② 書籍・定期通信 他：(独)日本学術会議より「学術の動向 2019.6」他17件

(3) 男女共同参画学協会連絡会報告

資料に基づき、①第17期男女共同参画学協会連絡会の第3回運営委員会の議事内容として、学協会連絡会の法人化の意向が了承されて、各学会の財政的な負担のない方向で法人化を目指すこととなったこと、②学協会連絡会で実施された大規模アンケートにおける解剖学会員の回答内容の分析結果が報告された。分析結果に関しては、第125回総会・全国学術集會時にシンポジウム及びポスターで発表するとともに、ホームページで会員に公開することとした。また、全国学術集會で開催予定の男女共同参画委員会企画シンポジウムに対する学協会連絡会の後援の申請に関して提案され、審議の結果、承認された。

(4) 令和元年度推薦による代議員申請状況について

資料に基づき、代議員申請状況が報告され、次回理事会で諮ることとした。また、代議員数が減少傾向にあるため、代議員選出資格を有する会員に対して広く申請を促すこととした。

(5) 日本外科学会CST推進委員会報告

資料に基づき、①第1回CST推進委員会(2019年8月2日開催)の議事内容として、産学連携による献体使用に関するアドホック委員会で作成中のガイドラインQ&Aの内容が説明され、今後、日本外科学会の理事

会で最終案が承認され公開される前に、本学会が内容確認の機会を持つ予定であること、②第120回日本外科学会定期学術集会でのCSTセッションでの「解剖学の立場から」の発表者を解剖学会からの弦本敏行先生（長崎大・医）を日本外科学会に推薦すること、③来年度の篤志解剖全国連合会総会でのCSTの現状に関する報告をCST推進委員会に依頼すること、④産学連携における献体使用に関するワーキンググループにおける解剖学会からの委員が内山安男先生（順天堂大）から藤本豊士先生（順天堂大）に交代したことが報告された。

- (6) その他
特になし。

2. 編集報告

- (1) 解剖学雑誌及びA S I 刊行報告及び刊行予定

資料に基づき、解剖学雑誌(94巻)、ASI(Vol. 94 No. 4)が2019年9月6日に会員宛に発送されたこと、ASI(Vol. 95 No. 1)の今後の刊行予定が2020年1月であることが報告された。

- (2) ASIにおける2018年インパクトファクターについて

資料に基づき、ASIの2018年インパクトファクターが過去最高の1.566であったことが報告された。

- (3) その他

80巻までの解剖学雑誌の電子化が9月末までに完了する見込みであることが報告された。今後の公開方法を審議した結果、会員向けホームページ上で公開することとし、IDやパスワードなどの運用方法案をアウトリーチ委員会に報告し検討してもらうこととした。

- (4) その他

特になし。

3. 企画・渉外報告

- (1) 認定一級技術者資格試験について

資料に基づき、認定一級技術者資格試験（2019年9月14日）の実施状況(受験者1名)が報告された。

- (2) 認定二級技術者資格試験について

資料に基づき、認定解剖組織技術者資格審査委員会の審査の結果、3名の受験者が合格と判定されたことが報告された。

- (3) 令和元年度奨励賞・認定解剖組織技術者功労賞申請状況について

資料に基づき、令和元年度奨励賞・認定解剖組織技術者功労賞申請状況が報告された。また、募集要項に関して審議された結果、共著者に関する同意書に関して、主要論文が筆頭著者以外である場合（共筆頭著者の場合も含める）は、該当論文での申請者の役割を記載した上で、共著者全員からの同意書をとってもらう様式に変更することで承認された。

- (4) 2020(令和2)年度第125回日本解剖学会総会・全国学術集会の準備状況について

資料に基づき、第125回日本解剖学会総会・全国学術集会の準備状況について、① シンポジウム内容が確定したこと、② 演題登録の時期が会費請求時期よりも早いことより、参加・演題登録が会費の未払いの状況でも可能としたことが報告された。また、今後、学会参加費の振込に関してキャッシュレス化の導入を検討することで了承された。

- (5) 2023(令和5)年度第128回総会・全国学術集会開催校について

資料に基づき、第128回総会・全国学術集会開催校の募集状況（募集締切：9月末日）が報告された。

- (6) 日本医学会報告・日本医学会連合報告

資料に基づき、「Body World～驚異の人体展」日本国内巡回展への協賛に関するドリームスタジオ（株）の依頼に対して、本学会としては協賛を差し控えるとの回答をしたことが報告された。また、日本医学会医学用語管理委員会からの遺伝学用語に関するアンケート依頼に対する本学会の返答内容が報告された。

- (7) 生物科学学会連合報告

資料に基づき、日本医学会の「医学用語のなかの『奇形』という用語を見直すためのワーキンググループ」の委員の生物科学学会連合からの推薦の依頼に対して、本学会から三木崇範先生（香川大・医）を推薦する予定であることが報告された。

- (8) 日本脳科学関連学会連合報告

資料に基づき、「脳科学関連領域における産学官連携候補課題に関する調査」の依頼に対して、常務理事会で検討した結果、学会として参画方法について、関連する候補課題(16題)に対してメール、郵便で情報共有したいとの回答をしたことが報告された。

- (9) 若手研究者の会について

資料に基づき、2019年8月24～25日に開催した若手研究者の会・夏の学校の開催状況（参加者31名）が報告された。今後の開催予算について審議された結果、特別会計から計上し、5年程度で見直すこととし、令和2年度の予算として300,000円を計上することで承認された。

- (10) 韓国解剖学会との若手研究者支援事業について

資料に基づき、日韓共同シンポジウムにおいて招聘する相手側演者の宿泊代に関しては、ホスト側が負担する案が説明され、審議の結果、了承された。今後、申し合わせ事項として韓国解剖学会に打診することとした。

(11) 20thIFAAについて

資料に基づき、2024年の20thIFAAの主催国に韓国が決定したことが報告された。

(12) その他

特になし。

4. 会計報告

(1) 令和元年度中間決算書について

資料に基づき、令和元年度8月中間決算報告書(2019年1月1日～2019年8月31日)の内容が報告された。

(2) 第124回総会・全国学術集会収支・開催報告

資料に基づき、第124回総会・全国学術集会開催報告書の内容が説明され、参加者数1,621名(市民公開講座参加者341名を含む)、演題数731演題であったことが報告された。

(3) アウトリーチ委員会より(広告料アンケート調査、ホームページ再構築)

資料に基づき、アウトリーチ委員会が関連企業に対して実施したホームページ広告に関するアンケートの解析結果が報告された。また、ホームページの閲覧数を向上のため、ホームページを再構築し、コラムなどの掲載を企画していることが報告された。

(4) 消費税増税に伴う事務委託費・学会センタービル倉庫賃借料変更について

資料に基づき、消費税の増税に伴い、10月分より口腔保健協会への事務委託費について増税分を反映した額に改定し、事務委託費の算定基準額満額への対応に関しては、消費税増額後の2020年度決算状況を鑑み、再検討されることが報告され、了承された。また、事務書類や文献などの保管のための賃貸物件に関して審議された結果、今後、書類や文献を処分あるいは事務局へ移管し、契約を終了する方向で承認され、理事会に諮ることとした。

(5) その他

特になし。

5. 理事長報告

(1) 理学療法士学会からの依頼に対する対応について

資料に基づき、理学療法士養成課程における解剖学教育の在り方に関する検討会についての理学療法士学会からの依頼に対する解剖学会としての最終回答文案が報告され、審議の結果、承認された。

III. 審議事項

1. 新入会員の承認について

資料に基づき、2019年5月1日から8月31日に入会申請があった一般会員19名、学生会員7名について審議の結果、全員の新規入会が承認された。

2. 教授就任による代議員について

資料に基づき、教授就任に伴う以下の1名の代議員申請者について審議の結果、承認された。

大庭 伸介 先生 (長崎大・歯・細胞生物学・教授、2019年5月1日就任)

3. 正常解剖における献体取り違えに対する対応について(庶務)

資料に基づき、北海道大学歯学部における納棺時に発生したご遺体の取り違えに関する北海道大学からの報告を受け、ご遺体の管理体制や取り違え防止のための取り組み状況に関する調査を実施することとし、解剖体委員会が作成した状況調査のアンケート内容が確認された。今後、理事会で審議した後、調査を実施し速やかに提言としてまとめることで承認された。

4. 技術職員に関するアンケート対応について

資料に基づき、未回答の大学からの回答の提出後に、最終的な集計結果を取りまとめ、解剖学雑誌や会員向けホームページに掲載し公表することが報告された。今後、どのような方針で提言として関係各位に働きかけていくかについて継続して検討することで承認された。

5. 委員会主催のシンポジウム・ワークショップに関する規約見直しについて

資料に基づき、全国学術集会開催の各種シンポジウム・ワークショップに関する申し合わせ事項が別々にあり、整合性が取れていない部分があることから、事務局より現行の申し合わせ事項を統合した案が説明された。審議の結果、一部修正した案で了承され、理事会に諮ることとした。

6. 基本財産の運用について

7. 10thAPICAについて

資料に基づき、2020年(9th)の主催国が中国に決定したことが報告された。2024年の20thIFAAの主催国が韓国であることなどの周辺状況も考慮して、本学会の10thAPICAへの立候補の可否を決定することで承認された。

8. 死体解剖資格取得申請に関する問題提起について
資料に基づき、会員からの死体解剖資格取得申請に関する問題提起の内容が説明され、審議の結果、適切な資格認定の運用に関する学会としての見解の素案を西理事に検討してもらうことでした承された。
9. 常任幹事1名追加について（理事長）
常任幹事候補者1名に依頼することでした承された。
10. その他
2019年12月15日（日）A P 東京八重洲通りを予定
次回務理事会 10:30-13:00（部屋は13:30まで使用可）、理事会 13:30-17:00（開場13:00）
（理事会冒頭で小出前会計監査人への感謝状贈呈式を予定）